

第 118 回グリーンサポート隊活動報告

1. 日時：2021. 7. 18(日)午前9時～11時
2. 場所：C地区、D地区
3. 参加者：27名（役場3名含む）

・6月、7月の活動

6月23日、7月14日にD地区の刈り込みを実施しました、夏休みに入ると子供が林の中に入り虫取りをするのでタラノキなど棘のある木が伸びて危険なこともあり、D地区を集中的に刈込しました。2回にわたり、刈込隊で実施。一部タラノキなどが群生している箇所を重点的に刈込。住宅に近く樹木を伐採して陽当たりが良いために林内と異なる背丈の高い雑草が伸びているところは今後の経過を見るために刈込をしないで残しました。



住宅近く陽当りの良いところの草は種類が違います。



・ 7月18日の活動は3つの作業を実施

- ①D地区で刈込をした後の草を林内数か所に集めてとりあえず集積しておく
- ②先般来、カシノナガキクイムシ被害調査と措置を実施していますが、次々に新しい被害が増えているのでC・D地区で新しい被害樹木の発見とマーキング
- ③草の中に実生の苗が育ってきているので刈込時に切ってしまうないように苗のところにマーキングする。次回刈込予定のC地区で実施

①刈込した草の収集

熊手を使って林内数か所に集積、集積した草は堆肥になっていくと思います。



②カシノナガキクイムシ被害樹木調査

新たにカシノナガキクイムシ被害を受けた樹木調査、C地区、D地区だけで新たに40本以上の被害が確認されました。クイムシの穴に薬剤を注入する方法では被害拡散防止に間に合わないので薬剤を樹皮に散布し、ラップで周囲を包む措置をして様子を見ることにしました。以前措置をした樹木でもさらに上部に虫の穴が多数開いていますので被害は止まりません。本日はトラスト協会の方も来所し、以前に措置した樹木のその後調査を実施しました。



新しく見つけた被害樹木は薬剤塗布してラップで包んでいます。



③草の中の実生の苗を見つけてマーキングする

草の中に実生の苗が育ってきていますので、刈込の時に誤って刈り取ってしまわないようにマーキングをしました。グリーンサポート隊で一番若い小学生の女の子が頑張って沢山の苗をみつけてくれました。苗の箇所には竹を挿して赤いビニールのリボンをつけてもらいました。

C地区だけで30本以上の苗を確認しました。未だ小さく、細いことからしばらくそのままにして時間が経過し、もう少し育ったら林内に移植をする予定にしています。手前の赤いリボンのところが苗です。



・この時期例年であれば林内ではカブトムシやクワガタがどんぐり系の樹木に沢山群がっているはずですが、今年はカブトムシをほとんど見かけていません。しばらく様子を見ていきましょう。

毎年8月は暑さが厳しく、特に最近は猛暑となることからグリーンサポート隊の活動は休止して、9月から再開の予定です。